

がん患者の精神的・身体的苦痛に 関するスクリーニングシート (生活のしやすさに関する質問表)の普及

	Plan	Do	Check	Act
1週目	目標:普及状況を客観的に把握できるシステムを構築する。	① スクリーニングシートを電子カルテの文書管理システムに登録する。 ② 別紙手順に則って運用する。 ③ 運用上の不具合に関する情報をがん診療支援室が収集する。	がん診療支援室に寄せられた運用上の不具合に関する情報を、評価・改善検討会で共有し、対策を講じる。	評価・改善検討会で立案した対策に則ってシステムを修正する。
2週目	目標:実態を把握する。 評価指標: ① 外来および入院 がん患者数。 ② ①のうち電子カルテからシートが発行された患者数。 ③ ①のうち、記入済みシートが回収された患者数。 ④ スクリーニングシートが契機となり、緩和ケアチームや SW に依頼された患者数。	評価指標を集計する(毎月)。	評価・改善検討会において評価指標の情報を共有し、普及の妨げとなっている因子を同定し、対策を検討する。	対策を実行する。
3週目以降	目標:更なる普及を目指す。 評価指標:同上+2週目の Act の評価に必要な項目。	評価指標を集計する(毎月)。	評価・改善検討会において診療科別に評価指標を分析する。	スクリーニングシートの導入や活用が遅れている診療科に対してがん診療支援室が個別に改善を申し入れる。

がん化学療法看護アセスメントシートの普及

	Plan	Do	Check	Act
1周目	目標:普及状況を客観的に把握できるシステムを構築する。	① アセスメントシートを電子カルテの文書管理システムに登録する。 ② 別紙手順に則って運用する。 ③ 運用上の不具合に関する情報をがん診療支援室が収集する。	がん診療支援室に寄せられた運用上の不具合に関する情報を、評価・改善検討会で共有し、対策を講じる。	評価・改善検討会で立案した対策に則ってシステムを修正する。
2周目	目標:実態を把握する。 評価指標: ① 通院治療センターで化学療法を実施された患者数。 ② ①のうち、アセスメントシートを利用した患者数。	評価指標を集計する(毎月)。	評価・改善検討会において評価指標の情報を共有し、普及の妨げとなっている因子を同定し、対策を検討する。	対策を実行する。
3周目	目標:通院治療センターで化学療法を実施された患者の90%以上がアセスメントシートを利用する。 評価指標:同上+2周目のActの評価に必要な項目。	評価指標を集計する(毎月)。	評価・改善検討会において評価指標の情報を共有し、普及の妨げとなっている因子を同定し、対策を検討する。	対策を実行する。

がん化学療法看護アセスメントシート:運用フローチャート(2015年3月改訂)

診察前採血

あり

なし

通院治療センターにてバイタルサインを含めた問診の実施

各科外来看護師にてバイタルサインを含めた問診の実施

看護師は、バイタルサイン→ケアフローに入力
PSを含めたGrade評価→ヤギー台紙 通院治療センター
「がん化学療法看護アセスメントシート」に情報を入力し一時保存

医師は診察時、ケアフローを開きバイタルサインの確認

医師は診察時、「文書」で
ステータスが「中断」となっているアセスメントシートを選択、**ダブルクリック**または**変更**
ボタンを押す。数秒で入力画面になります。



がん化学療法看護アセスメントシート:運用フローチャート(2015年3月改訂)

①アセスメントシート問題欄のチェックを確認

有害事象が**あり**となった場合、「あり」となります。

有害事象の評価を確認する

これまでのアセスメントシートより医師の確認・入力が簡潔になるよう改訂しました

②医師確認欄のチェック

未⇒済にする

* 化学療法中止の場合も確認済のチェックが必要です

③一時保存をする

がん化学療法看護アセスメントシート

作成日	平成27年3月23日	アセスメントシート問題	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	記録者	後藤 麻美子
医師確認済	<input checked="" type="checkbox"/> 未 <input type="checkbox"/> 済	登録			
ID	0000001	患者氏名	東京 テスト1	年齢	63
PS		身長	cm	体重	kg
診療科	外科	病名		体表面積	m ²
治療レジメン					
投与計画・投与日	1コース()日・投与日(day)・()コース目				
治療目的・目標					
投与前(Grade評価:CTCAE Ver.4.0 改定)					
悪心	<input checked="" type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> 前回投与後あり	<input type="checkbox"/> 現在もあり		
嘔吐	<input checked="" type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> 前回投与後あり	<input type="checkbox"/> 現在もあり		
食欲不振	<input checked="" type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> 前回投与後あり	<input type="checkbox"/> 現在もあり		
口腔粘膜炎	<input checked="" type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> 前回投与後あり	<input type="checkbox"/> 現在もあり		
便秘	<input checked="" type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> 前回投与後あり	<input type="checkbox"/> 現在もあり		
下痢	<input checked="" type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> 前回投与後あり	<input type="checkbox"/> 現在もあり		
発熱	<input checked="" type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> 前回投与後あり	<input type="checkbox"/> 現在もあり		
末梢神経障害	<input checked="" type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> 前回投与後あり	<input type="checkbox"/> 現在もあり		
皮膚障害	<input checked="" type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> 前回投与後あり	<input type="checkbox"/> 現在もあり	(<input type="checkbox"/> ぶくぶく様皮疹 <input type="checkbox"/> 掻痒 <input type="checkbox"/> 乾燥 <input type="checkbox"/> 爪障害 <input type="checkbox"/> 爪囲炎)	
その他	<input checked="" type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> 前回投与後あり	<input type="checkbox"/> 現在もあり		

がん化学療法看護アセスメントシート:運用フローチャート(2015年3月改訂)

通院治療センターにて治療中の反応、患者指導内容を看護師が追記し化学療法終了時に**確定保存します**

* 中止となった患者の場合、通院治療センター看護師が、中止理由を含めてアセスメントシートを確定します



通院治療センター看護師は、記録(実施入力画面)に確定したアセスメントシートを貼付し、治療日の記録として完成させる。

がん化学療法看護アセスメントシート xps

【注射実施】 外来予定 20150114-0085

RP01	アロキシ静注 0.75mg/5mL	1 <V>
	テパ [®] 注6.6mg/2mL(リン酸塩8mg)	1 <V>
	ガスター20mg/2mL/A(静注時要希釈)	1 <A>
	ポララミン 5mg/1mL	1 <A>
	生理食塩液 100mL	1 本

持続点滴:
点滴速度 220ml/h : *点滴時間 30分で

最終記録として貼付します

がん化学療法 有害事象アセスメントシートの運用方法

1. 通院治療センターにて診察前採血がある患者は、来室時に看護師がバイタルサインを含めた問診をとる。

★診察前採血がない場合には、各診療科看護師が診察前にバイタルサインを含めた問診をとる。

- ① バイタルサインは、ケアフローに入力する。
- ② PSを含めた Grade 評価は、ヤギー文章に入力。
選択肢またはチェックボックスより選択し、「一時保存」する。
- ③ Grade 評価またはその他に記入した症状より「アセスメントシート問題」欄①のチェックを「■あり」にする。

がん化学療法看護アセスメントシート

作成日 平成28年3月23日 アセスメントシート問題 なし あり 記録者 後藤 麻美子

医師のサイン 未 済

ID 0000001 患者氏名 東京 テスト1 年齢 63 性別 男

PS 身長 cm 体重 kg 体表面積 m²

診療科 外科 病名

治療レジメン

投与計画・投与日 | コース()日・投与日(day)・()コース目

治療目的・目標

投与前(Grade評価:GICAE Ver.4.0:改定)

悪心	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> 前回投与後あり	<input type="checkbox"/> 現在もあり	
嘔吐	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> 前回投与後あり	<input type="checkbox"/> 現在もあり	
食欲不振	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> 前回投与後あり	<input type="checkbox"/> 現在もあり	
□腔粘膜炎	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> 前回投与後あり	<input type="checkbox"/> 現在もあり	
便秘	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> 前回投与後あり	<input type="checkbox"/> 現在もあり	
下痢	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> 前回投与後あり	<input type="checkbox"/> 現在もあり	
発熱	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> 前回投与後あり	<input type="checkbox"/> 現在もあり	
末梢神経障害	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> 前回投与後あり	<input type="checkbox"/> 現在もあり	
皮膚障害	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> 前回投与後あり	<input type="checkbox"/> 現在もあり (<input type="checkbox"/> さ痒様皮疹 <input type="checkbox"/> 掻痒 <input type="checkbox"/> 乾燥 <input type="checkbox"/> 爪障害 <input type="checkbox"/> 爪囲炎)	
その他	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> 前回投与後あり	<input type="checkbox"/> 現在もあり	

2. 医師は、診察時にケアフロー・ヤギー文章にてバイタルサイン・有害事象等の情報を共有し、内容を確認したら医師確認欄②のチェックを「■済」にする。

3. 点滴投与中の観察は、これまで通りケアフローに入力をする。

4. 有害事象アセスメントシートは、投与時以降の情報を追加入力し、治療が終了した時点で「確定保存」する。

投与時	
内服前投薬	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 済 () <input type="checkbox"/> 未 ()
投与経路	末梢(<input type="checkbox"/> 22G、 <input type="checkbox"/> 24G、 <input type="checkbox"/> その他) 部位(<input type="checkbox"/> 左、 <input type="checkbox"/> 右、 <input type="checkbox"/> 前腕、 <input type="checkbox"/> 上腕、 <input type="checkbox"/> 手背、 <input type="checkbox"/> その他)
	<input type="checkbox"/> ポート 部位(<input type="checkbox"/> 左、 <input type="checkbox"/> 右、 <input type="checkbox"/> 前胸部、 <input type="checkbox"/> 上腕部、 <input type="checkbox"/> その他)
急性症状	急性の悪心/嘔吐 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり
	アレルギー反応/過敏症 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり
	インフュージョン・リアクション <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり
	血管外漏出 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり
	その他 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり
投与後指導説明内容	
感染予防	<input type="checkbox"/> 予防法 <input type="checkbox"/> 対処法
日常生活指導	<input type="checkbox"/> 予防法 <input type="checkbox"/> 対処法
受診の目安を説明	<input type="checkbox"/> 初回 <input type="checkbox"/> 継続
その他	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり
治療に関する理解	
	<input type="checkbox"/> 問題なし / <input type="checkbox"/> 問題あり
心理・社会的状態	
	<input type="checkbox"/> 問題なし / <input type="checkbox"/> 問題あり
次回への申し送り事項	
	<input type="checkbox"/> なし / <input type="checkbox"/> あり

5. 確定したヤギー文章を記事に添付し、通院治療センターにおける看護記録として使用していく。

がん化学療法看護アセスメントシート xps

【注射実施】 外来予定 20150114-0085

RP01 アロキシ静注 0.75mg/5mL 1 <V>

フェカール静注 8.8mg/2mL (リドゼン8mg) 1 <V>

ガスター 20mg/2mL/A (静注時要希釈) 1 <A>

ポラミン 5mg/1mL 1 <A>

生理食塩液 100mL 1 本

持続点滴:

点滴速度 220ml/h : *点滴時間 30分で

在宅療養を希望するがん患者に対する 支援の質の向上

	Plan	Do	Check	Act
1週目	目標:最期の療養の場に関するがん患者の希望を遅滞なく把握し、医療者にフィードバックするシステムを構築する。	緩和ケアチームや認定・専門看護師、がん相談支援センター、がん診療支援室が中心となってシステムを構築し、運用を開始する。 運用上の不具合に関する情報をがん診療支援室が収集する。	がん診療支援室に寄せられた運用上の不具合に関する情報を、評価・改善検討会で共有し、対策を講じる。	評価・改善検討会で立案した対策に則ってシステムを修正する。
2週目	目標:実態を把握する。 評価指標: ① 療養の場に関する希望を聴取することができた患者数。 ② ①のうち、在宅療養を希望した患者数。 ③ ②のうち、実際に在宅療養に移行した患者数。 ④ ③において利用できた社会資源	評価指標を集計する(毎月)。	評価・改善検討会において評価指標の情報を共有する。在宅療養の妨げになっている問題点を抽出するために必要な対策を検討する。	対策を実行する。
3週目以降	目標:在宅療養の妨げになった問題点を改善し、希望する患者の在宅療養移行率を高める。 評価指標:上記 ①～④ + 2週目の Act によって抽出された背景因子。	評価指標を集計する(毎月)。	評価・改善検討会において評価指標の情報を共有する。在宅療養に移行できた症例とできなかった症例の背景因子を比較し、医療者側、患者側、それぞれの問題点を抽出する。	医療者側の問題点を改善する。患者側の問題点については類似症例の対応の参考にする。